

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡 / 湯之奥・中山金山

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報

砂金掘り大会 GOLD RUSH

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館

THE Yu-no-oku MUSEUM OF GOLD MINING HISTORY

参加者
募集!!

第8回

こども金山探険隊

2008 7/26 [SAT] 7/27 [SUN]

参加者
募集!!

第8回

砂金掘り大会

2008 8/2 [SAT]

夏休み
特別企画

第5回

東西中高交流砂金掘り大会

2008 8/2 [SAT]

世界遺産にみる「価値の証明」

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷口 一 夫

前年度、金山博物館の公開講座は、「金・銀鉱山遺跡と黄金文化」～黄金の国ジパングの深層を探る③～と題し、5回（51回～55回）にわたり開講いたしました。

これは、身延町・湯之奥に所在する国指定史跡「甲斐金山遺跡」（黒川金山・中山金山）である湯之奥「中山金山」の歴史的位置づけ、さらには日本における著名な金・銀鉱山遺跡と対比・検証することで、日本の鉱山遺跡の中における中山金山の存在価値を再認識するための公開講座でした。

日本における国史跡の金銀鉱山遺跡は、8世紀の「黄金山産金遺跡」（宮城県・涌谷）、16～17世紀の「甲斐金山遺跡（黒川金山・中山金山）」（山梨県）、16世紀の「石見銀山遺跡」（島根県）、17世紀の「佐渡金山遺跡」（新潟県）と限られ、いずれも世界遺産登録に何らかの形で関わっています。

石見銀山は既に登録済み。また、中尊寺をコアにした「平泉—浄土思想を基調とする文化的景観」は、6月23日のユネスコの諮問機関 ICOMOS で「登録延期」が勧告されてしまいました。理由は平泉の文化的価値が「世界にまれな普遍的価値」としての証明が不十分ということで、石見につづく登録延期勧告でした。

石見については、後述しますが普遍的価値を証明することで、延期勧告から1か月半後に本登録になりましたが、平泉は苦戦しそうです。私達の目線からは平泉に近い8世紀における日本最初の産金地・涌谷の金が、国分寺の総本山東大寺の大仏（盧舎那仏）の鍍金に使われたり、涌谷含め陸奥諸金山の金は、12世紀の中尊寺・金色堂を飾り、マルコポーロをして「黄金の国ジパング」（東方見聞録）が欧州に伝えられたとされる歴史解明を学術的に進める必要性を痛感します。世界に類例のない価値（歴史事実）が潜んでいるように思われてなりません。

佐渡は「金と銀の島、佐渡～鉱山とその文化～」をテーマに登録を目指した活動をしています。同じ銀山が石見で登録されていますので、

石見にない「普遍的価値」をどのように見出すかが課題となります。

湯之奥・中山金山は、世界遺産を目指す「富士山」のバッファゾーンに位置する国の文化遺産であり、「富士山の巨大で美しい円錐形の火山体も、湯之奥中山金山の石英脈（金鉱石）も、伊豆地塊の衝突で、信仰や生産の対象となる自然物として人々の生活の場にもたらされたもの（井澤2008）、という富士山との深い関わりの中にあるという出発点から、多くの歴史と価値（初源的金山）を生み出してきています。

さて、前出の石見鉱山における逆転劇は、過去行われてきた総合学術調査の成果をもとに新たに「環境」というキーワードがありました。

鉱山では薪や炭を大量に消費しますが、石見では、山林から木材を切り出すのに「輪番制」を定め「環境」に配慮されていたと言われ、これが「他に例がない固有のもの」であり、「顕著で普遍的な価値がある」と認められたわけです。

世界遺産登録の種類・条件

- ・世界遺産には、文化遺産・自然遺産・複合遺産の3種類がある。有形の不動産が対象で、仏像や出土品などの文化財は対象外である。

- ・文化遺産は、顕著な普遍的価値を有する記念物、建造物群、遺跡、文化的景観など。

◎ユネスコ「世界遺産委員会」において資産の内容が他に類例のない固有のものであり、国際的に決められた判定基準に照らして「顕著で普遍的な価値」があると認められなければならない。

◎その価値にふさわしい、有効な保存管理が手厚くなされていることも、必要条件となっている。（文化財保護法による指定・選定）

活 動 報 告

開館記念特別展「湯之奥金山博物館ポスター展」終了 4月24日～5月11日

当館は平成9年の開館から12年目を迎えました。これまで企画展、特別展、イベントポスターなど様々なポスターを作製し、事業周知をはかって参りましたが、開館記念日である4月24日から連休明けの5月11日までの約2週間、これまで作成した関係ポスター約20枚を一堂に展示し「湯之奥金山博物館歴代ポスター展」を開催いたしました。谷口館長はポスター展開催の挨拶として、次のように語りました。

「当館は平成9年4月の開館以来、満11年が経過し、この4月24日で12年目の活動に入りました。

有料入館者も20万人お迎えいただきましたが、この数に含まれない各種のイベントや企画展・特別展への来館者の皆様も多数おります。

そこで過去に開催して参りました企画展・特別展のポスターを紐解いてみました。その一枚一枚には、博物館活動の中で取り組んできた館の歴史が残されています。これらの蓄積が厚みを増していくことが出来れば重要な館活動の歴史（文献）資料となっていくでしょう。

これらのポスターたちを館の歴史を伝える一助として、今回展示公開するとともに公開後、大事に保管していきたいと思えます。」

しもべおんせんまつり

5月17日(土)～18日(日)

リニューアルされた「しもべおんせんまつり」も、同実行委員会主催のもと、今年で4年目を迎え、メイン会場となった博物館駐車場には当日、多くの出店が並び、盛大に執り行われました。

日本航空高校の太鼓演奏、万燈行列、そして風林火山チームによる「よさこいソーラン」など、いつもおまつりに華を添えてくれている出し物が、訪れた人々を楽しませてくれていました。

当日の夕方に、一時的に激しい雨が降ったものの、会場も博物館も大賑わいでした。

1日目の締めくくりに花火大会も雨の影響はなく、無事に執り行われ、花火ならではの大きな音が温泉郷中に響き渡り、空には大輪の花が咲きました。

2日目には熊野神社神楽殿において伝統の神楽奉納が執り行われました。この日は、身延線全通80周年記念のさわやかウォーキングの600人程が訪れました。

開館12年目記念植樹

6月1日(日)

これまで多くの皆様からの温かいご支援・ご協力と開館以来の地道な努力の結果、館も少しずつ前進しています。開館9年目からは館のさらなる発展を願って記念植樹をし、同時に博物館周辺の緑化・美化に努めております。その願いが届いているかのように、これまで植えた木々は日々生長し花をつけ、そして入館者数も増え続け、現在に至っております。

今年も「全国の鉱山研究拠点・学術文化施設としての面を充実」、そして「身延町の顔、地域に密着した温かい施設作りと館としてのさらなる進化」という変わらぬ願いを託して多目的ホールの裏庭に、あじさい、ドウダンツツジ、

三つ葉ツツジ、イロハモミジ、キリシマツツジ、レンゲツツジ、オオムラサキツツジ、の7種の植物を植えました。



館からお知らせ①

「こども金山探険隊」「砂金掘り大会」参加者募集!!

今年も暑い季節がやってきました。当館恒例、夏の2大イベント「こども金山探険隊」と「砂金掘り大会」を次のような日程で開催いたします。日程は次のとおりです。今年も多くの皆様のご参加をお待ちしております。いずれのイベントも参加お申し込み、お問い合わせは博物館までご連絡ください。

君も金山衆になろう! 第8回こども金山探険隊

「こども金山探険隊」は今年で8回目。親子で楽しみながら学習出来る、まさに夏休みの自由研究にもってこいのプログラムです。1日目は湯之奥・中山金山遺跡現地見学と、下山後、博物館屋外展示場において「粉成・汰り分け」という戦国期の鉱山作業を実体験し、2日目の灰吹き実験では約1.2gの甲州金作り（甲州式朱判程）、好きな刻印を打刻して、オリジナル甲州金を作製。この“甲州金”はお持ち帰りいただけます。

最近“大人も参加して良いですか?”と言われますが、その場合の受け入れも可能。参加定員は15人。かねてから参加したいと思っていた方は、どうぞお早めのお申し込みをおすすめいたします。

期 日：平成20年7月26日(土)～27日(日) ※雨天決行（雨天の場合現地登山中止、雨天プログラムに変更）

参加費：3,500円（純金材料費として）

定 員：15人（小学生～中学生まで）

申込み締め切りは 平成20年7月22日(火)まで です。

※参加費は保護者・付き添いの方からはいただきません。なお、一日目のバーベキュー懇親会に参加希望される方は、別途大人1,000円、子供500円頂戴いたしますが、同行者の方もご参加いただけますのでお気軽にお申し出ください。

日 程

7月26日（1日目）

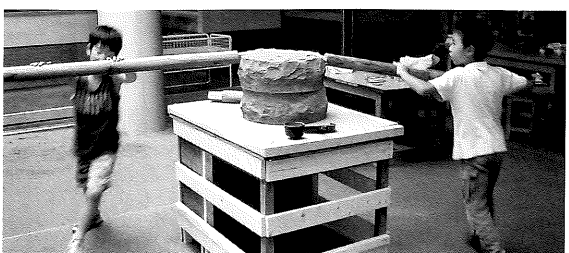
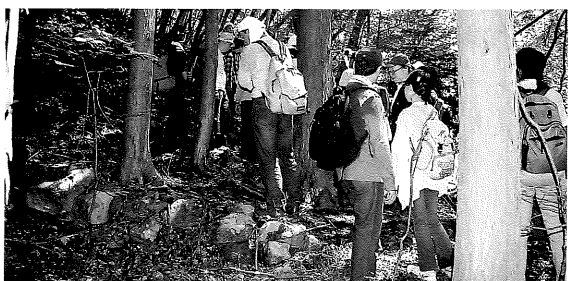
- 8:30 金山博物館集合 受付
- 8:40～9:10 オリエンテーション 館内見学
- 9:20 博物館出発（車にて登山口へ）
- 9:50～11:30 中山金山登山開始
- 11:30～12:20 女郎屋敷・精練場 現地説明・金鉱石探し
- 12:20～12:40 精練場にて休憩 昼食
- 12:40～13:30 大名屋敷・七人塚見学 精練場まで戻り下山
- 14:30 登山道入口到着 博物館に戻る
- 15:00 博物館到着 休憩
- 15:20～17:45 ゆり分け・粉成作業
- 18:00～19:30 懇親会「バーベキュー」隊員の感想発表
- 19:40 解散 各自宿泊先へ

雨天時

- 8:30 金山博物館集合 受付
- 8:30～8:45 オリエンテーション
- 8:45～9:30 博物館内見学
- 9:40～10:40 富士宮市奇石博物館へ移動（金鉱石の学習）
- 10:50～12:45 見学・宝石探り体験 昼食
- 12:50～14:00 金山博物館到着
- 14:10～14:50 休憩 砂金探り体験
- 15:00～17:00 粉成・ゆり分け作業
- 17:30～19:10 懇親会「バーベキュー」
- 19:15 解散

7月27日（2日目）

- 8:40 金山博物館集合
- 9:00～11:30 作業工程説明・甲州金づくり・刻印打ち
- 12:00～12:30 修了式 アンケート記入 解散



めざせ/平成の砂金掘り師!

第8回砂金掘り大会・第5回東西中高交流砂金掘り大会

砂金採りの技とスピードを競うこの競技。各部門上位3位までの入賞者にはメダル進呈、総合優勝者には豪華副賞も。リベンジを果たそうと思っている方、大会初体験の方、それぞれに合った部門を選んでレッツチャレンジ!なお、部門にこだわらず過去入賞経験者は自動的にベテラン部門にエントリーされます。申し込み締め切りは 平成20年8月1日(金)の午前中まで です。

期 日：平成20年8月2日(土) ※小雨決行、大雨の場合は8月3日に延期

参加費：大人500円、中学生まで300円 (受付時に徴収)

定 員：100人まで

競技部門

◎ジュニアの部 (小～中学生)、◎男女初心者の部 (高校生以上の男女)、◎男女ベテランの部 (年齢制限なし)

※世界砂金掘り大会のルール改正に伴い、当館ルールも次のようにルール変更をいたしましたのでご確認ください。変更箇所：制限時間15分→10分に変更、ペナルティタイム5分→3分に変更

同日午後2時より、第5回を迎える**東西中高交流砂金掘り大会**を開催いたします。昨年優勝校・灘が連覇を続けるのか!?もしくは強敵となった各校がたちはだかるのか?「砂金掘り」による熱い戦いを繰り広げる選手たちにあたたかいご声援をお願いいたします。(参加校は下記現在、1～2校検討中です。)

参加校：灘(兵庫)、開成学園(東京)、駿台甲府(山梨)、山梨学院大学付属(山梨)、立教新座(埼玉)、

日 程

- 8:30～ 9:00 受付
(飛び入りの方は、9時までの受付のみ有効)
- 9:00～ 9:15 開会式
- 9:15～ 9:25 デモンストレーション
- 9:30～ ジュニア部門競技開始
- 10:10～ 男女初心者部門競技開始
- 10:50～ 混成予備試合
- 11:10～ 男女ベテラン部門競技開始
- 11:30～ ミニゲーム
- 11:50～ 表彰式
各部門第1位から第3位まで
賞状・メダル
総合優勝者に賞状・トロフィー・副賞
参加者全員に参加賞
- 12:30 一般大会終了
- 14:00～16:30 東西中高交流砂金掘り大会
- 17:00 すべてのプログラム終了



大会の競技風景、砂金採りで大盛り上がり

次のページに砂金掘り大会参加申し込み用紙がありますので、参加希望の方はご利用ください。

湯之奥金山博物館杯・第8回砂金掘り大会 参加申込用紙

(コピーして使用可・または同項目を記入したものであれば有効)

参加申し込み締め切り 平成20年8月1日(金)まで

申し込み方法	申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、当館迄にFAXいただくか、ご郵送ください。 なお、同項目を記入して頂いたメールでも受付いたします。また電話でのお申し込みも可能です。				
出場者名	氏名(ふりがな)	性別	年齢	部門	備考
	①	男・女			
	②	男・女			
	③	男・女			
	④	男・女			
	⑤	男・女			
代表者住所・連絡先 (必ずご記入ください)		〒	TEL () -		

FAX 0556-36-0003まで

平成20年度 博物館公開講座日程

平成20年度公開講座のテーマ及び日程が次のように決定いたしました。『河内地方の原風景を追って②』と題し、今年10月から来年2月まで各月1回開催の全5回。各回とも午後2時から午後4時まで(質疑応答を含む)、博物館多目的ホールにて開催いたします。各分野の最前線で活躍されている先生方を講師陣にお招きしてのこの公開講座。聴講無料です。今年も多くのご聴講をお待ちしております。

平成20年度公開講座『河内地方の原風景を追って②』ご案内

通算回	期 日	演 題	講 師 名
第56回	10月11日(土)	武田信玄の虚像と実像 ～「甲陽軍館」の評価～	NHK大河ドラマ「風林火山」 時代考証者 柴 辻 俊 六
第57回	11月22日(土)	甲斐金山と鉾山技術研究の新展開	帝京大学山梨文化財研究所所長 萩 原 三 雄
第58回	12月13日(土)	甲斐国・河内領穴山氏の誕生	元山梨県史編さん室長 秋 山 敬
第59回	平成21年 1月31日(土)※予定	甲斐国・河内の職能集団 ～甲府城築造からみた土木技術とその担い手～	山梨県教育委員会 宮 里 学
第60回	2月28日(土)※予定	甲斐国・河内の初期金山を巡る新資料	山梨郷土研究会 数 野 雅 彦

※気象条件や講師の都合により、日程が変更になることもございますので、その都度博物館へお問い合わせのうえ、ご来館ください。また、講師の都合により演題が変更されることもございます。

平成9年から平成17年度までに開催された公開講座は、講演記録集『金山史研究』として、刊行・販売されております。18年度、19年度の『金山史研究』も随時刊行して参ります。なお、書籍取扱店は、博物館、道の駅しもべ、川窪書店(身延・下山)となりますので、ご希望の方はお問い合わせください。

館からお知らせ②

秋の遺跡見学会のお知らせ

湯之奥金山博物館「遺跡見学会」は、武田領内で操業された県内外の湯之奥金山と同時代に操業していたと伝えられる金山遺跡をこれまで16回にわたって毎年開催し、参加者からも毎回好評をいただいております。

今年度の第1回見学会は湯之奥・中山金山遺跡見学会、第2回は世界遺産・石見銀山遺跡見学会です。

中山金山では石見銀山においてロボット間歩調査を行った島根県松江高専工学博士・久間英樹先生による、石見銀山と同じく人の入ることの出来なかった未調査ともいえる坑道の奥の確認をすると同時に、現代の発達したロボット工学と鉱山調査に投入されたその技術を知るべく、新しい試みとしての見学会となります。

湯之奥・中山金山遺跡見学会【難易度・上級者コース】

期 日：平成20年9月20日(土) ※予備日9月21日(日) ※小雨決行

講 師：島根県松江高専工学博士：久間英樹先生

定 員：15人（申込期間：平成20年9月18日(木)まで）

世界遺産・島根県石見銀山遺跡見学会

期 日：平成20年10月16日(木)～18日(土) 2泊3日

定 員：30人（申込期間：平成20年10月7日(火)まで）

参加費：39,000円

【参加料内訳：大久保間歩入坑料、石見銀山ガイド料、バス代・保険・食事代、宿泊料含みます】

石見銀山は、戦国時代後期から江戸時代前期にかけた日本最大の銀山であり、開始時期は異なるが、佐渡・土肥金山など江戸時代の主要有名金山と同時代に操業した銀山でもあります。同銀山は、日本全国の鉱山の産出量を飛躍的に増大させたとき、甲斐全体の金山の繁栄をも導いたと言われる金山奉行・大久保長安が手がけたということもあり、甲斐金山との深いつながりがある遺跡の一つです。

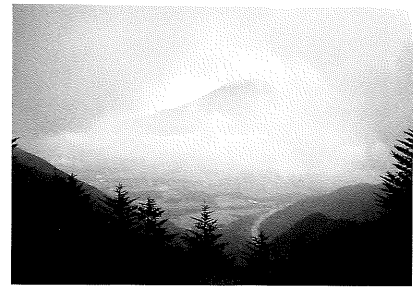
鉱脈は石見国東部、現在の島根県大田市大森の地を中心とし、同市仁摩町や温泉津町にも広がり、日本を代表する鉱山遺跡として1969年（昭和44年）に国指定の史跡に登録されました。2007年（平成19年）に、ユネスコの世界遺産への登録が決定され、同年、日本の地質百選に選定されました。現在、観光センターも建設され、世界遺産登録を受けた鉱山ということで、日本中の鉱山史研究者、鉱山関係者からの注目を集めている鉱山遺跡であり、日本のみならず世界中から多くの観光客が訪れています。

現在、本県も富士山世界遺産登録に向けて動きだし、また、本町もこの運動に賛同し運動推進に努めていますが、湯之奥金山遺跡も、富士山を取り巻くバッファゾーンに位置する国指定史跡という文化遺産の一つとして、その枠組みの中に入るといって方向で動いています。そうした中、世界遺産に登録された石見銀山との対比研究はきわめて重要と考え、今回の見学会開催を計画しました。

★ツアーポイント★

行程2日目は、期間限定公開の大久保間歩の見学をはじめ、1日まるまる石見銀山を体感していただく当館ならではのコースです。観光旅行ではなく、遺跡見学会ですので他の観光名所などの立ち寄りはありませんが、価格と内容を比較していたら価値あるツアーということがお分かりいただけます。

参加お申し込み希望の方は詳細リーフレット（参加申込書を含む）をお送りいたします。



湯之奥は天気が良ければ富士山が見えます

お申し込みから出発までの流れ

1, 申込書にご記入のうえ、郵送・博物館窓口にてお申し込みください。

申し込み締切日 10月7日(火)

2, 同時に参加代金を当館指定口座にお振り込みください。博物館窓口も可能です。

→ 正式申し込みとなります

3, 正式申し込みから、出発の一週間前までに、参加要項・予約確認書をお送りいたします。

見学会日程：（大型観光バスで博物館→石見まで直行 片道約10時間）

1日目（10月16日）

下部→増穂IC→中央道→名神→米子道→山陰道→玉造IC→石見銀山【市内ホテル】（泊）

2日目（10月17日）

石見銀山遺跡見学（大久保間歩、石見銀山観光センター、町並・港湾他、石見銀山資料館等）→【玉造温泉】（泊）

3日目（10月18日）

（泊）→出雲大社→休憩を挟みながら下部へ（午後8時～9時着予定）

見学会ツアーに関する全てのお問い合わせは当館までお願いいたします。

館からお知らせ③

210インチの大型スクリーンで、名作や話題の作品を楽しんでいただいている親子映画鑑賞会。今年度も引き続き開催して参ります。子供たちはどんな感想を持ち、お父さんやお母さんたちはどんな風を感じたのか、同じ作品を見て楽しさや感動を共有できるような心のふれあいの時間になれば幸いです。もちろん親子でなくとも、どなたでもご覧になれますので、お気軽にお出かけください。

今回の映画会の日程は次のとおりです。上映作品は、館内小中学校に配布するチラシ、そして博物館HPなどで周知しております。

親子映画観賞会

◎平成20年8月20日(水) 午後1時～

その他、博物館の開館時間について

◎5月～9月の開館時間：午前9時～午後6時まで（受付は閉館30分前まで。休館日・毎週水曜日）
なお、8月中は無休開館となりますので、この夏休みもご家族そろってお出かけください。

博物館日誌 (平成20年4月～6月)

6月				5月				4月																											
21日(土)	20日(金)	19日(木)	17日(火)	12日(木)	11日(水)	10日(火)	5日(木)	4日(水)	1日(日)	27日(火)	24日(土)	23日(金)	22日(木)	20日(火)	18日(日)	17日(土)	16日(金)	13日(火)	11日(日)	9日(金)	3日(土)	1日(木)	30日(水)	24日(木)	21日(月)	18日(金)	17日(木)	16日(水)	9日(水)	2日(水)	1日(火)				
親子映画観賞会「名犬ラッシー」	毛無山・中山金山遺跡下見調査	甲斐国博物館ネットワーク実行委員会出席(県博)	峡南高校課外授業2回目、夏イベントポスター完成	ヤマメまつり実行委員会	峡南高校課外授業	館内クリーニングメンテナンス	文科省・全国博物館館長会議出席	読売新聞取材・撮影	山梨県博物館協会総会出席	博物館イメージポスター完成	NHK取材・撮影、敷島中、御坂中県内めぐり	身延山大学課外授業	まっふる山梨取材	韓国町内視察団来館	一宮中県内めぐり	若草中県内めぐり	JR東海「さわやかウォーキング」協賛	しもへおんせんまつり2日目(於熊野神社)	しもへおんせんまつり1日目(於博物館駐車場)	押原中、櫛形中県内めぐり	白根御勅使中県内めぐり、松里中1年生校外学習	特別企画・歴代ポスター展最終日	竜王中県内めぐり	道の駅富士川ふるさと工芸館出張砂金採り	夏時間変更	GW期間臨時開館	開館記念特別企画・歴代ポスター展(5月11日迄)	開館記念日・開館12年目突入	社会教育委員会	パンフレット刷新・展示スポット増設	増穂中県内めぐり	『館たより44号』一般配布	観桜期臨時開館	観桜期臨時開館	年度初め

編集後記

梅雨入りが例年より早く、毎日はっきりしない天気と梅雨寒が続いています。今年は、すでに台風が日本列島をかすめていますから、周辺の河川は増水を繰り返しています。ですから、川や海で水遊びをされる皆さんにとってはちょっと

と嫌な季節かも知れませんね。去年は猛暑日を何日も記録しました。今年の夏も昨年並みの暑さが予想されるところですが、皆、早く梅雨が明けて待ちに待った楽しい夏休みに向けているような予定を立てていることでしょうか、博物館恒例の夏イベントも予定に入れていただき、ふるってご参加ください。

博物館だより 第45号 平成20年6月25日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先 甲斐黄金村・湯の奥金山博物館 電話 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003
博物館HPアドレス http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html 博物館Eメールアドレス yunoking@town.minobu.lg.jp